



2023年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年2月9日

上場会社名 アクセルマーク株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3624 URL <https://www.axelmark.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 松川 裕史
 問合せ先責任者（役職名） 管理本部長（氏名） 鈴木 啓太（TEL）03-5354-3351
 四半期報告書提出予定日 2023年2月9日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（四半期決算説明の動画配信を予定しております。）

（百万円未満切捨て）

1. 2023年9月期第1四半期の業績（2022年10月1日～2022年12月31日）

（1）経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第1四半期	601	△5.9	△0	-	△1	-	△0	-
2022年9月期第1四半期	639	1.1	△5	-	1	-	0	-

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第1四半期	△0.07	-
2022年9月期第1四半期	0.01	0.01

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第1四半期	1,597	952	59.2
2022年9月期	1,560	935	59.5

（参考）自己資本 2023年9月期第1四半期 946百万円 2022年9月期 929百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2023年9月期	-	-	-	-	-
2023年9月期(予想)	-	0.00	-	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年9月期の業績予想（2022年10月1日～2023年9月30日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	2,500 ～3,000	△6.4 ～12.3	△203 ～△51	-	△202 ～△49	-	△204 ～△52	-

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料6ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (3) 四半期財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2023年9月期1Q	10,646,300株	2022年9月期	10,571,500株
2023年9月期1Q	33株	2022年9月期	33株
2023年9月期1Q	10,597,484株	2022年9月期1Q	9,449,467株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化により、予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間における我が国の経済は、長期化するロシア・ウクライナ情勢による国際的な原材料費やエネルギー費の高騰に伴うインフレ率の上昇と世界的な金融引き締め政策による金融市場の大きな変動や世界的な景気後退懸念により、依然として先行き不透明な状況が継続しております。

当社が主にサービスを提供しているインターネット広告市場においては、引き続き日本社会におけるデジタルトランスフォーメーション(DX)の推進は継続しており、成長を続けております。また、ブロックチェーンをはじめとする新たな技術を通じてインターネットサービスや社会にもたらされる変革を指した概念であるWeb3の到来により、インターネットを取り巻く環境は大きな変革期に突入しており、そのなかでもブロックチェーン技術/NFTビジネスは、暗号資産相場の乱高下はあるものの引き続き注目を集めております。

このような環境の下、当社では、中長期的な事業成長のためには広告事業を中心とした大規模な事業投資が必要と判断し、投資を開始いたしました。

具体的な投資内容としては、広告事業で培ったノウハウを活かした新たな広告配信プラットフォームの開発に着手したほか、積極的な人員拡充、組織体制の強化を図るとともに働く環境への投資も実施し、企業成長の源泉である「人材」の力を最大限に引き出せるような人的資本経営の実現を通じ、企業価値向上につなげてまいります。

これらにより、中長期的な売上規模拡大とともに、利益率向上に取り組んでまいります。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績は、売上高601,624千円(前年同期比5.9%減)、営業損失180千円(前年同期は5,799千円の営業損失)、経常損失1,801千円(前年同期は1,476千円の経常利益)、四半期純損失689千円(前年同期は122千円の四半期純利益)となりました。

各セグメントの業績は次のとおりであります。

(広告事業)

広告事業の売上高は598,115千円(前年同期比5.5%減)、セグメント利益は36,006千円(前年同期比19.0%増)となりました。

アドネットワーク「Adroute」は、引き続き電子書籍領域での取引拡大もあり堅調に推移したほか、運用代行サービス「トレーディングデスク」は、前年に売掛債権管理の見直しに伴う売上高の減少があったものの、徐々に回復傾向にあります。また、システム等の受託開発、運営保守では、取引先から受注しております。

(その他事業)

その他事業の売上高は3,509千円(前年同期比46.1%減)、セグメント損失は8,353千円(前年同期は1,819千円のセグメント損失)となりました。

ブロックチェーンゲーム関連では、株式会社オルトプラスの子会社である株式会社OneSportsと企画開発している国内初NFTを活用したJリーグオフィシャルライセンスゲーム「Jリーグトレーディングサッカー(略称:トレサカJリーグ)」について、一般ユーザーを対象としたオープンβ版をリリースし、Free to Play and Earn(無料ではじめて楽しみながら稼ぐ)のコンセプトのもと正式版リリースに向けて、改善を図っておりました。正式版につきましては、2023年1月26日付でリリースをしております。なお、本ゲームは株式会社OneSportsが公益社団法人日本プロサッカーリーグより商品化ライセンス許諾を受け商品企画しております。また、積雪深自動モニタリングシステム「YUKIMI」では、引き続き、複数自治体にて今冬においてもサービスを提供しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における資産合計は、前期末に比べて37,322千円増加し、1,597,835千円となりました。これは、主に現金及び預金が39,473千円減少したものの、売掛金が61,613千円、無形固定資産が16,455千円増加したこと等によるものであります。

負債合計は、前期末に比べて20,372千円増加し、645,755千円となりました。これは、主に賞与引当金が14,456千円、転換社債型新株予約権付社債が22,290千円減少したものの、買掛金が57,600千円増加したこと等によるものであります。

純資産合計は、前期末に比べて16,949千円増加し、952,079千円となりました。これは、主に四半期純損失689千円の計上、その他有価証券評価差額金が4,651千円減少したものの、転換社債型新株予約権付社債の転換により資本金及び資本準備金がそれぞれ11,145千円増加したこと等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2022年11月10日に公表した業績予想からの変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2022年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,240,097	1,200,624
売掛金	198,450	260,064
貯蔵品	3,882	3,882
その他	33,595	37,641
流動資産合計	1,476,025	1,502,211
固定資産		
有形固定資産	13,766	13,099
無形固定資産	1,082	17,537
投資その他の資産	69,638	64,986
固定資産合計	84,487	95,623
資産合計	1,560,513	1,597,835
負債の部		
流動負債		
買掛金	175,144	232,744
未払法人税等	7,255	3,505
賞与引当金	16,340	1,883
その他	47,705	50,975
流動負債合計	246,446	289,109
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	378,936	356,646
固定負債合計	378,936	356,646
負債合計	625,383	645,755
純資産の部		
株主資本		
資本金	217,178	228,323
資本剰余金	808,147	819,292
利益剰余金	△100,629	△101,318
自己株式	△25	△25
株主資本合計	924,670	946,272
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	4,485	△166
評価・換算差額等合計	4,485	△166
新株予約権	5,973	5,973
純資産合計	935,130	952,079
負債純資産合計	1,560,513	1,597,835

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自2021年10月1日 至2021年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自2022年10月1日 至2022年12月31日)
売上高	639,515	601,624
売上原価	566,576	523,753
売上総利益	72,939	77,871
販売費及び一般管理費	78,738	78,051
営業損失(△)	△5,799	△180
営業外収益		
受取利息	—	174
受取手数料	150	150
暗号資産評価益	7,469	—
助成金収入	—	200
その他	23	59
営業外収益合計	7,643	583
営業外費用		
暗号資産評価損	—	2,106
その他	366	98
営業外費用合計	366	2,204
経常利益又は経常損失(△)	1,476	△1,801
特別利益		
貸倒引当金戻入額	—	1,350
特別利益合計	—	1,350
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	1,476	△451
法人税、住民税及び事業税	1,353	237
法人税等合計	1,353	237
四半期純利益又は四半期純損失(△)	122	△689

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 2021年10月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	広告事業	その他	計		
売上高					
外部顧客への売上高	633,010	6,504	639,515	—	639,515
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	633,010	6,504	639,515	—	639,515
セグメント利益又は損失(△)	30,247	△1,819	28,428	△34,227	△5,799

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△34,227千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期累計期間(自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期 損益計算書 計上額 (注) 2
	広告事業	その他	計		
売上高					
外部顧客への売上高	598,115	3,509	601,624	—	601,624
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	598,115	3,509	601,624	—	601,624
セグメント利益又は損失(△)	36,006	△8,353	27,653	△27,833	△180

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△27,833千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。